令和5年度　森林環境譲与税使途状況

(1)団体コード	(2)都道府県名	(3)市町村名	(4)事業区分	(5)事業名	(6)事業総額（千円）				(7)事業内容	(8)針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業は「○」を選択	(9)自治体間連携に関係する事業は「○」を選択	(10)実績																			(11)税導入の効果
												森林整備関係								人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用					
					(A)+(B)+(C)	(A)うち令和5年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）	(C)うち他の財源（千円）				（ア）森林経営管理法に基づく経営管理意向調査実施面積(ha)	間伐等実施面積			路網整備			（ク）その他	（ケ）事業体等への助成		（コ）研修、講習、求人イベント等		（サ）その他	（シ）研修や普及啓発イベント等		（ス）その他	（セ）公共施設等の木材利用			（ソ）その他	（タ）その他	
													（イ）間伐(ha)	（ウ）除伐(ha)	（エ）その他（作業種、実績値を記載）	（オ）林道・林業専用道の開設延長(m)	（カ）森林作業道の開設延長(m)	（キ）その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)	うち国産材(m3)			
074233	福島県	柳津町	② 意向調査	森林環境譲与税活用事業	3,617	0	3,617	0	モデル地区（1か所）における意向調査対象森林の経営管理権集積計画案策定を委託し、その委託料を支出した。			35																				【ワンフレーズ】 税活用により、経営管理権集積計画案を策定できた。 また、林道の維持管理の実施及び鳥獣対策の緩衝帯整備を実施することができた。 【詳細】 我が町の私有人工林面積は2,599ha（林野率88%）と広大であることから、本税を森林整備実施に向けて活用している。 だが、この人工林はまとまったものではなく、小規模な面積の森林が点在している状況にある。 この中から令和元年・2年度は、比較的まとまっている森林をモデル地域として設定し、そのエリアの森林所有者の特定するために、データの整理作業を行い、今年度から開始を予定している意向調査に向けた準備業務を実施した。 令和3年度においては意向調査を実施し、対象森林所有者の意向を取りまとめた。 令和4年度においては意向調査実施地における現地踏査を実施し、経営管理権集積計画策定のための準備を行った。 令和5年度においては、経営管理権集積計画案を策定し、また町管理地における緩衝帯整備を実施することができた。更に、林道維持管理事業によって、森林整備の基礎となる林道の機能が保たれた。 残額は将来の森林整備施業に使用するため、基金に積み立てた。
074233	福島県	柳津町	⑥ 林道・林専道の整備等	林道整備事業	5,313	0	5,313	0										林道中ノ川線 路網維持・管理　529.5m														
074233	福島県	柳津町	⑦ その他（森林整備）	町管理地における緩衝帯整備事業	143	0	143	0	住宅地に隣接する町管理地の5条森林において鳥獣が出没するため、緩衝帯として刈り払い・除伐を行う。								鳥獣対策として刈り払いを実施														
074233	福島県	柳津町	⑪ 基金積立（森林整備等）	柳津町森林環境基金積立	13,258	13,258	0	0	今後増大すると予想される森林経営管理法に基づく市町村自らによる森林整備（市町村森林経営管理事業）を実施するために基金として積み立てた。																							